

はじめて子育て講座「ほっとサークル」 ～ピオーラコース～ 平成30年7～9月生まれの子どもと家族が対象

初めての子育ては不安や悩みが尽きないものですね。「こんな悩みは私だけ?」「近所で友達が欲しいな」というママ。赤ちゃんとおふれあひながら、子育てについて一緒に考えていきましょう。



定員20組
無料

日時	場所	内容	持ち物
12月13日(木) 10:00～11:30	藤久保公民館 (和室)	～プレママと先輩ママの交流～ ・自己紹介 ・地図を広げてみよし探検 ・子育てQ&A 等	・母子健康手帳 ・バスタオル ・赤ちゃんに必要なもの(ミルク、おむつなど)
12月17日(月) 10:00～11:30		ベビーマッサージ	

▶**申込方法**…電話・FAX・メールで申し込み。
メール・FAXの場合は以下の必要事項を記入。
＜**必要事項**＞①参加するママの名前 ②住所 ③電話番号
④子どもの名前と生年月日 ⑤何番目の子どもか
※メールの場合は、件名に「子育て講座申込み」と書いて送信。

※右のQRコードで「ほっとサークル」の動画が見られます →



はじめての不安にお答えします! はじめての離乳食(離乳食教室)

赤ちゃんにあげるはじめてのごはん。「何からあげたらいいのかわからない」そんな不安や疑問に答える講座です。実際に簡単な調理実習も行います。一緒に作ってみませんか? 保育はありませんが、お子さんと一緒に参加できます。



定員12組
無料

▶**日時** 11月20日(火)
9:30～12:00
▶**会場** 保健センター2階調理室
(中央図書館前)



▶**対象** 第1子(生後4～5か月)の子どもと家族
▶**持ち物** ①エプロン ②三角巾(バンダナ可) ③手拭タオル
▶**申込方法** 電話・FAX・メールで申し込み。
メール・FAXの場合は以下の必要事項を記入。
＜**必要事項**＞①参加するママの名前 ②住所 ③電話番号
④子どもの名前と生年月日
※メールの場合は、件名に「離乳食教室申込み」と書いて送信。

休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	富士見市鶴馬 1967-1
電話番号	049-264-9592	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	月～土曜	月・木曜
診療時間	9:00～16:00 20:00～22:00	20:00～22:00	月・木曜が平日 18:00～翌朝8:00 まで 月・木曜が祝日 8:00～翌朝8:00 まで

※第二休日診療所は平成30年3月25日に閉鎖しました。

すべて無料。①②④の会場は中央図書館。
申込みは中央図書館にて受付中(電話可)

1 子どもの読書環境サポート隊「ほんのむし」 読み聞かせボランティア勉強会

11月11日(日) 10:15～12:00 (受付10:00～) **対象・定員** どなたでも
・読み聞かせの基礎を学び直そう!一年長児～小学生に読むときー
・読み聞かせボランティアの活動現場から一オススメ本・工夫例紹介ー
▶**申込み** メールの場合: gkcs21@yahoo.co.jp(ほんのむし事務局)

2 図書館医療講座 ー脳神経外科による脊椎・脊髄手術についてー

11月16日(金) 14:00～15:00 (受付13:45～) **対象・定員** 大人30人
▶**講師** イムス三芳総合病院 脳神経外科医師 田中聡氏

3 絵本作家 長野ヒデ子さんといっしょに! ーみんなで「かみしばい」・わくわく「えほん」ー

11月17日(土) 14:00～15:30 (受付13:40～) **対象・定員** 年長児～大人70人
親子参加歓迎
▶**会場** 藤久保公民館

4 中高年の読書会ービブリオバトル方式ー

11月22日(木) 14:00～16:00 (受付13:40～) **対象・定員** 大人30人
(うち発表者7人)
おすすめの本を持参し、1人5分以内で紹介。
意見交換。聞くだけの参加も歓迎。
▶**共催** みよし読書愛好会、図書館

図書館だより



毎月23日は「よみ愛・読書の日」

三芳町図書館

中央図書館 ☎ 258-6464
開館時間 / 10:00～19:00(土・日・祝 18:00 まで)
休館日 / 毎週月曜日、月末
竹間沢分館 ☎ 274-1722
開館時間 / 11:00～18:00
休館日 / 毎週月曜日、月末
配本所(中央公民館内) ☎ 258-0050
開館時間 / 9:00～21:00
休館日 / 原則第1月曜日(中央公民館休館日)

としょかん・クリスマス会

人形劇、大型絵本、パネルシアターなど。楽しく本を紹介します。参加費は無料です。

＜5歳～小学生の部＞
12月15日(土) ① 10:15～11:55
② 13:30～15:10
▶**定員** 各70人 ※①②は同じ内容

＜2～4歳の部＞
12月16日(日) ③ 10:30～11:20
▶**定員** 親子50組 ※保護者同伴で

【申込み】11月13日(火)から図書館、電話で受付。
「入場券」を渡します。

みよし歴史探訪

文化財保護課 ☎ 258-6655

三芳地名考(藤久保の地名①)

正保年間(1644～48)の武蔵田園簿に「藤窪」見取場として現れるのが文献初出である。藤久保の地名由来について、明治末に編纂された「三芳村郷土史」に「川越街道を挟んでその両側に居住する。東方の鶴瀬村境に窪地があり、清水が湧き出し細く流れていた。そこには藤の巨木が繁り、花の盛りはとも見事であったので藤久保の地名由来となったとの口伝がある。その昔、人が居住し始めたのが窪地の近傍で、江戸時代になって川越街道が整備されると現在の地に移住したと考えられる。人の生活で最も重要なのは水であり、小川のある場所を選ぶのは当然であろう。しかもこの場所には元屋敷と呼ばれる所も存在する。」(意識とある)。

この窪地は現在の俣埜地区であり、付近は遺跡に指定されている。遺跡からは旧石器時代キャンプ跡・縄文時代の住居跡、奈良時代の住居跡や製鉄作業場が発掘されており、中世の道とされる鎌倉街道も通過していることから古来より居住に適した土地であったことがうかがえる。また、隣の大井宿が川越街道整備に伴い鎌倉街道沿いの旧村より移動していることを考え合わせると、この窪地周辺が藤久保の発祥地であるといえる。

では、フジクボのフジは果たして藤なのだろうか。藤久保村検地帳の最初の小字は「富士塚前」である。藤久保に富士塚。藤久保は武蔵野の東端に当たり、西を見ると北永井も上富も無く、荒涼たる武蔵野の向こうに壮大な富士山が望めたのである。日本に二つと無い不二の山。フジクボのフジは富士に通ずるのかもしれない。

→藤久保の富士塚に祀られる浅間神社

